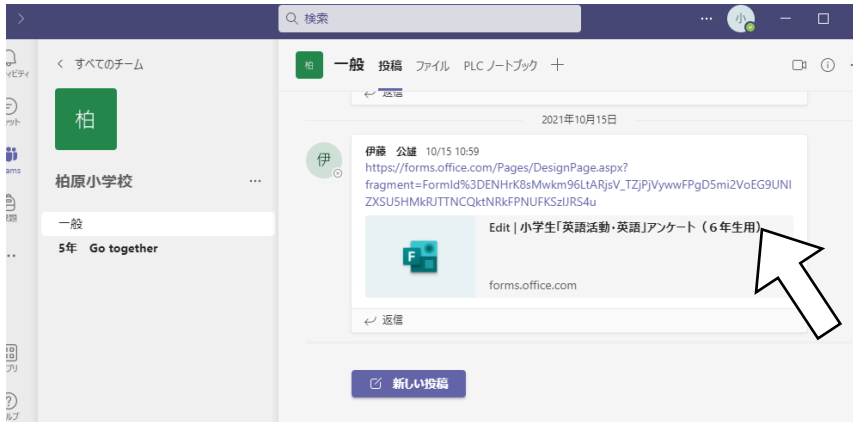


〈フォーム作成 と 共有 の仕方〉

I フォームを複製して、各学校の仕様にした上で、教師間で共同作業フォームとする。

①フォームのリンクをクリック



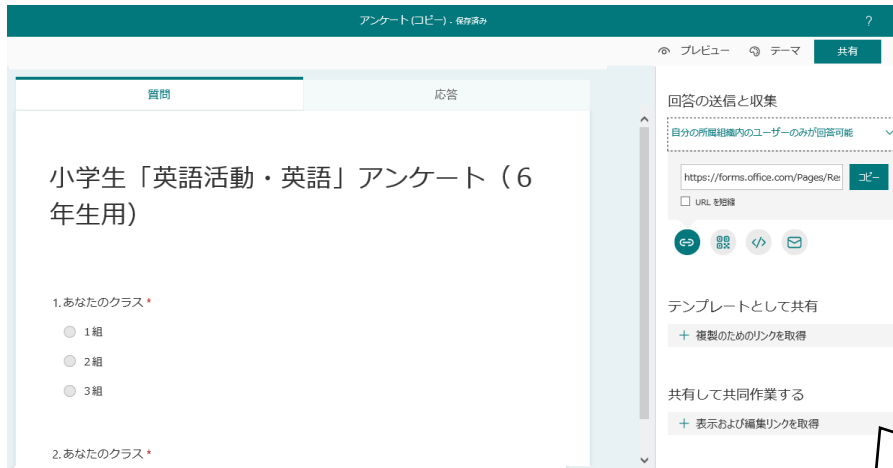
②必要に応じてサインインをした後、上段の複製するをクリック。



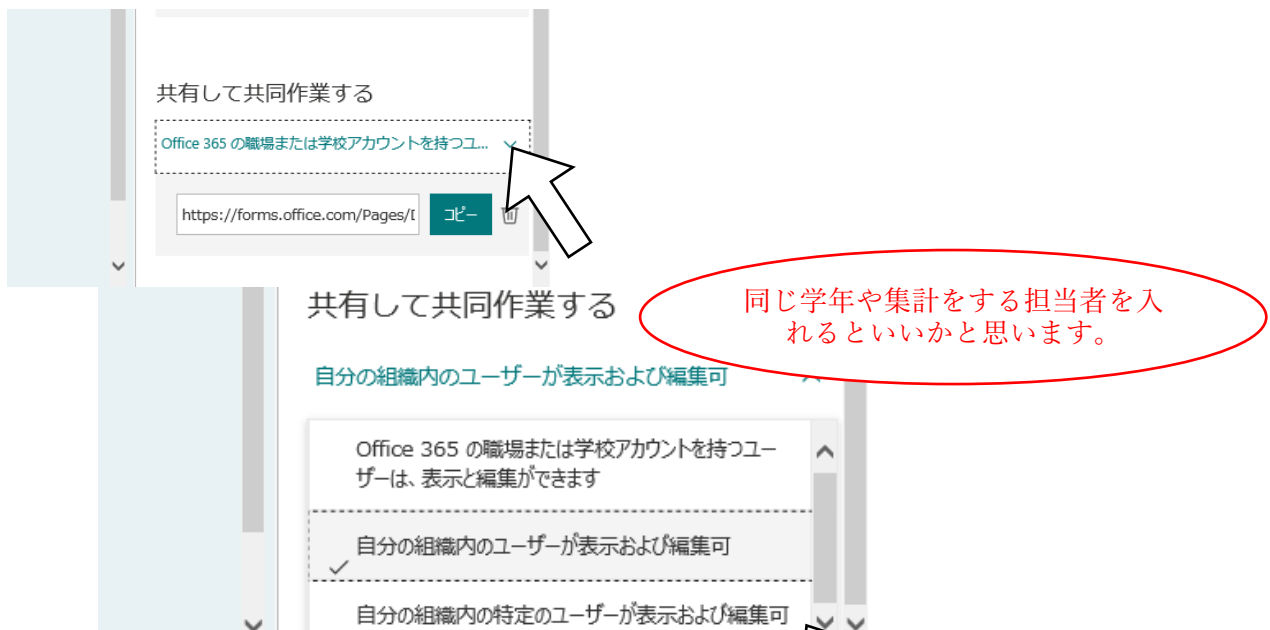
③必要に応じ、各学校の仕様に修正を加え、フォーム作成が完成したら画面右上側共有をクリック。



④画面右側、共有して共同作業するの+表示および編集リンクを取得をクリック。



⑤共有の範囲を設定する。



- ※上 ⇒ 狭山市内の児童・生徒も共有できるのではないかな。
- 中 ⇒ 同じ学校内で共有できるのではないかな。
- 推奨下 ⇒ 特定の先生方のみ、共有ができる。(例：該当学年のみ等)

※特定のユーザーについて、現段階ではファイルごとに1人ずつ、もしくは1グループ(チーム)ずつ検索をかける方法しか見つかりません。

つまり、6学年分、学年ごとに設定が必要となります。

この作業は所有者しかできないようです。



⑥必要に応じて、「コピー」をクリックし、フォームへのリンクをコピーする。リンクを学校のチームに貼り付ければ、共同作業フォームを開くことができる。

※特定のユーザーを選択した場合は、自動的に選択された各先生方の Forms の「自分と共有」フォルダにフォームが入っている状態となっています。



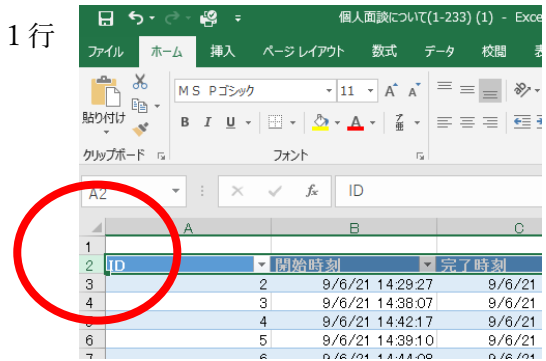
## II 児童への配布について

- ①Teams にて、各学級 Team へのリンクの共有。
- ②Sky menu の電子連絡板にリンクを貼り付ける。
- ③QR コードを取得して、読み取らせる。

<集計作業の仕方>

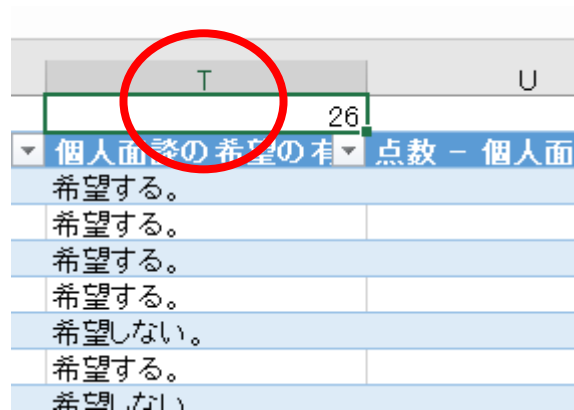
III SUBTOTAL 関数を用いて、列にある回答の個数を計上する。

①Excel ファイルを開き、該当のシートの1行目に、行を1行追加する。



②回答数を計上したい例の1行目に、数式を挿入する。

=SUBTOTAL(3,T2:T200)



T2 2行名からを計上する

T500 200行目までを計上する。

※学年ごとなので、200程度で十分です。

それ以上の大量のデータを扱う時は、大きくする。

③各セルの▼を押し、データを抽出する。

今回は、クラスごとに計上を求められているので、クラスの「1組」を選択する。

クラスを選択すると、1行目に、各回答数が自動計算されます。

その数字を、報告用紙に転記してください。